

**飼料用稲奨励品種「ホシアオバ」「夢あおば」を
組み合わせた収穫期間の拡大**

古川農業試験場

1 取り上げた理由

飼料用稲（ホールクロップサイレージ用稲）専用品種の中から，古川農業試験場において検定を行った結果，成績優秀であった品種を奨励品種とし，これらの品種を組み合わせた良質サイレージが得られる収穫期間の拡大が確認されたので，参考資料とする。

2 参考資料

1) 品種特性

a 「ホシアオバ」

- a) 早晚性は“極晩性”で，“まなむすめ”より出穂が8日遅い。
- b) 収量性は“まなむすめ”より10%～30%高く，葉茎割合が高い。
- c) 耐倒伏性は“やや強”である。
- d) 葉いもちの真性抵抗性は“*Pita-2, Pib*”である。

b 「夢あおば」

- a) 早晚性は“中生の早”で，“まなむすめ”より出穂が3日早い。
- b) 収量性は“まなむすめ”と同等又はやや高い。
- c) 耐倒伏性は“極強”である。
- d) 葉いもちの真性抵抗性は“*Pita-2, Pib*”である。

2) 移植時期と収量性

- a 「ホシアオバ」の移植期間は4月下旬から5月下旬まで適応可能であり，約180kg/a程度の地上部乾物収量が得られる（図1，表2）。
- b 「夢あおば」の移植期間は4月下旬から6月上旬まで適応可能であり，約150kg/a程度の地上部乾物収量が得られる（図1，表2）。
- c 乾田直播栽培では両品種とも5月中旬播種で安定的な収量が得られ，多肥条件において「ホシアオバ」で約150kg/a，「夢あおば」で約120kg/aの地上部乾物収量が得られる（表2）。

3) 収穫期間

「ホシアオバ」「夢あおば」を用い，移植・乾田直播栽培を組み合わせることにより，収穫期間は約45日程度が見込まれ，慣行牧草収穫機を使った予乾体系との組合せが可能な条件では，約2か月間の収穫が可能となる。（表2）

4) 対象地域

本体系の適用地帯は県内平坦地である。

3 利活用の留意点

- 1) 漏生籾による発芽・混植の可能性があるため，翌年主食用品種作付けを計画しているほ場では，飼料用稲専用品種の栽培は避け，耐倒伏性の強い主食用品種を使用する。
- 2) 真性抵抗性による抵抗性は，いもち病のレースの変化によって抵抗性が大きく変化し，罹病性になることがあるため，ほ場で病斑を見た場合は防除を行う必要がある。
- 3) 倒伏軽減や収穫時期の作業性を考え，中干し作業の徹底に努める。また，“ホシアオバ”（極晩性）作付においては熟期と水利条件への配慮が必要であり，収量低下を及ぼすような早期落水は避ける。
- 4) 農薬の使用については，“稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル”に準ずる。

（問い合わせ先：古川農業試験場水田利用部 電話0229-26-5106）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

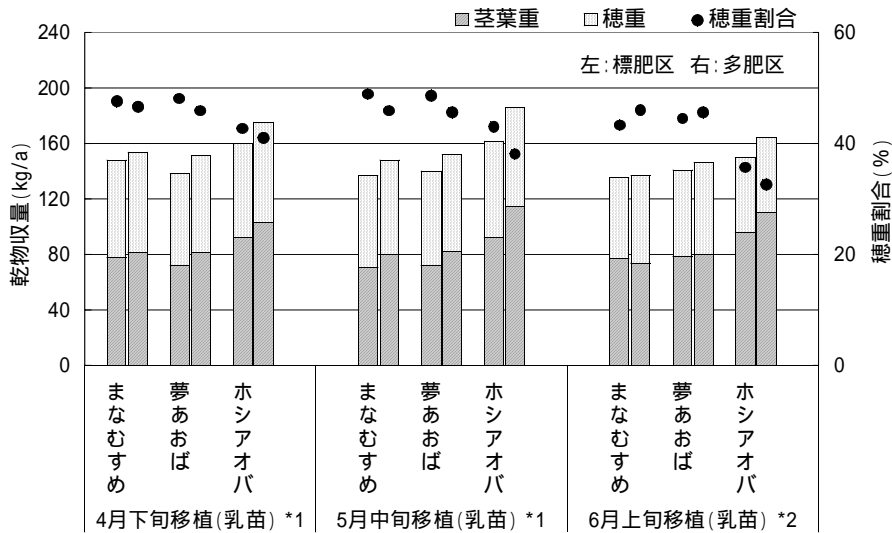
寒冷地における飼料用稲を基軸とした自給飼料多給型肉用牛生産技術の開発（平成16～19年度）

2) 参考データ

表1 品種特性

品種名	夢あおば	まなむすめ	ホシアオバ
組み合わせ	母 上321	チヨシキ	多収系174
	父 奥羽331号	ひとめぼれ	北陸130号
早晚性	中生の早	中生の晩	極晩
出穂期	8月7日	8月11日	8月19日
耐倒伏性	極強	やや強	やや強
脱粒性	難	難	やや難
穂発芽性	中	難	やや易
葉いもち	真性抵抗性	<i>Pita-2, Pib</i>	<i>Pii</i>
	圃場抵抗性	不明	やや強
耐冷性	やや弱	極強～強	やや強～中
玄米の形	中	中	やや細長
千粒重	やや大	やや大	大
育成地	中央農業研究センター 北陸研究センター (新潟県 上越市)	宮城県古川農業試験場 (宮城県 大崎市)	近畿中国四国 農業研究センター (広島県 福山市)

早晚性、出穂期、耐冷性は古試データ。その他はすべて育成地データ。



収穫は黄熟期、刈取高は地際とした。

標肥:5kg/10a, 多肥区:7kg/10a(基肥N成分), 標肥区・多肥区とも減分期追肥2kg/10a, 堆肥2t/10a

*1はH17～18年平均, *2はH17年データ(すべて古試データ)

図1 乳苗移植時期別の地上部乾物重及び穂重割合

表2 出穂期・熟期及び収量

品種および 移植・播種時期	出穂期		出穂期(乾直)		黄熟期		黄熟期(乾直)		収量(kg/a)		
	8月		9月		10月				標肥	多肥	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
ホシアオバ移植 (乳苗)	4下									165	176
	5中									157	186
	6上									147	164
ホシアオバ乾直	5中									122	157
	4下									138	151
	5中									142	160
夢あおば移植 (乳苗)	6上									141	147
	5中									120	125
	4下									146	154
まなむすめ移植 (乳苗)	5中									136	153
	6上									133	137
	5中									109	117

収量は地上部全体の乾物収量で、すべて地際刈り

標肥:5kg/10a, 多肥区:7kg/10a(基肥N成分), 標肥区・多肥区とも減分期追肥2kg/10a, 堆肥2t/10a

9月下(網掛け部)は食用稲刈り取り最盛期

乾直および6月上旬移植はH16～17年平均, その他はH16～18年平均(すべて古試データ)

3) 発表論文等 なし